

平成26-27年度
東京学芸大学附属図書館
概 要



東京学芸大学附属図書館

目次

特 色	
1. 東京学芸大学附属図書館の特色	1
2. 改修工事	1
1) 建物概要	
2) 改修前の課題	
3) 改修工事期間中の図書館利用について	
3. 平成 25～26 年度の主な活動日誌	5
1) 改修工事関係	
2) 展示・ガイダンス等	
3) その他	
組 織	9
1. 組織	
2. 職員数	
利用案内	10
1. 開館時間	
2. 各種サービス時間	
3. 貸出冊数・期間	
図書館システム	11
1. システム構成	
2. オンライン目録検索	
3. PCコーナー	
4. ネットワーク接続設備	
5. 東京学芸大学リポジトリ	
6. 教育系サブジェクトリポジトリポータル	
蔵 書	14
1. 文庫・コレクション	
2. 電子ジャーナル	
3. オンラインデータベース	
4. CD-ROM	
5. 自館作成デジタルコンテンツ	

統 計	18
1. 主たる利用対象者数	
2. 蔵 書	
3. 利用状況	
4. 相互協力	
5. 市民への公開	
6. 機関リポジトリ	
7. 経 費	
施設・設備	24
1. 図書館施設	
2. 主要設備	
附属図書館長	26
広報・企画	27
1. 出版物	
2. ウェブサイト	
3. 資料展示会	
紀要出版	28
沿 革	29
平面図	34

特 色

1. 東京学芸大学附属図書館の特色

本学は教育系大学として長い伝統と実績を有し、教育に関する研究、教員養成に関する教育・研究の中核的な役割を果たしてきた。附属図書館は、それらに資するため、教員養成や教育に関する資料の体系的な収集に努め、約92万冊の図書、約1万2千タイトルの雑誌等による蔵書を構築してきた。特に、往来物や明治期初年以來の初等教育の教科書等を含む「望月文庫」をはじめ、近世庶民の教育資料である絵双六を集めた「双六コレクション」など、貴重な教育関係資料のコレクションの充実を図ってきた。我が国の戦後の小学校・中学校の教科書・指導書、高校の教科書、学習指導要領については、網羅的な収集を行っており、研究者をはじめ、教員を目指す学生や現職教員などの幅広い利用者のニーズにこたえている。

本学のこうした特色ある蔵書をデジタルアーカイブとし、また、本学教職員の研究成果の保存・公開をめざし、当館で運営する教育情報ポータル「E-TOPIA (Education+Utopia)」を通して、インターネット上での情報発信にも力を注いでいる。

平成25年度補正予算により、平成26年6月から平成27年3月にかけて、昭和49年に建築された図書館建物の全面改修を行った。耐震性能の強化とともに、アクティブ・ラーニング機能をもったラーニングコモンズを設置し、平成27年5月に全面オープンした。創造力と実践力を身につけ、今日の学校教育における諸課題に積極的に取り組む教員を養成する本学のミッション実現のため、本学の学生、教職員、そして地域に開かれた図書館=情報発信の拠点となることをめざしている。なお、リニューアルオープンした図書館の1階には、大学と地域住民との交流の場となることを目的にカフェが併設されている。

【その他 特色ある取組み】

- (1) 学部学生のレポート・卒論執筆、発表の仕方等についての対面による相談など、大学院学生による学習サポーター制度の実施
- (2) 教育実習用図書コーナーの設置など、教育実習に関わる学習活動のサポート
- (3) 教員等からの依頼によるオーダーメイド講習会の実施
- (4) 他の教育系大学との協同による、教育系サブジェクトリポジトリ構築事業
- (5) 現職教員等学外者への図書の貸出

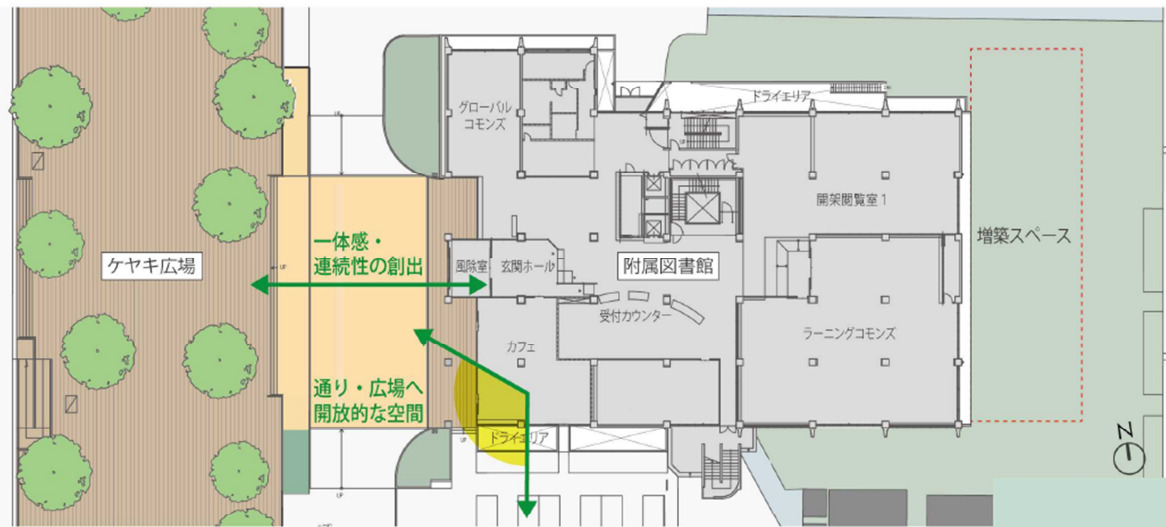
2. 改修工事

1) 建物概要

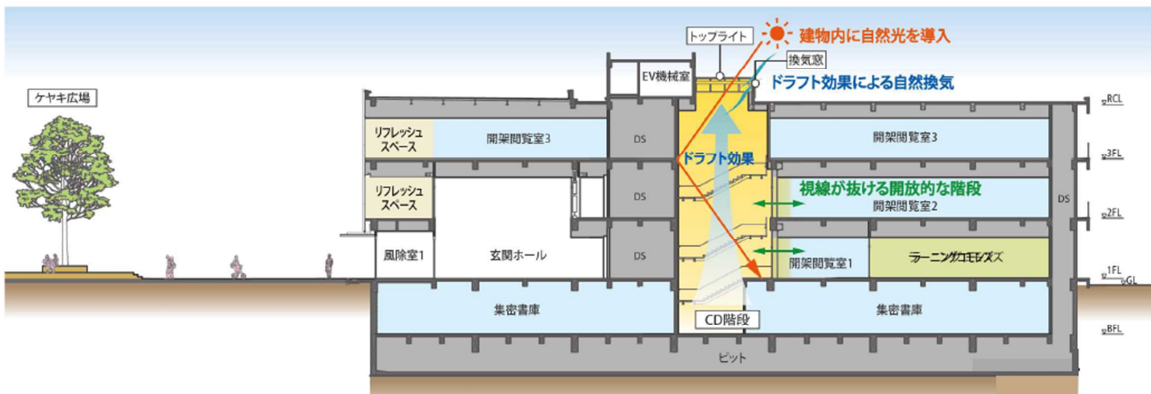
改 修 工 期 :	平成26年6月～平成27年3月 (仮設工事含む)
面 積 :	建築面積 1,703㎡ 延床面積 6,242㎡
構 造 :	鉄筋コンクリート造
規 模 :	地上3階, 地下1階
最 高 高 さ :	13.3m

新たな学びを創出する新図書館

正門に近く、ウッドデッキが広がるケヤキ広場に面した好立地を活かし、開放的で親しみやすい環境づくりを行うと共に、大学内の新たな学びの拠点となるアクティブラーニング機能をもった新図書館とする。



エントランス廻りの木質化、広場からの段差のないアプローチにより、ケヤキ広場との一体感・連動性を高める。また、軽快で透過性の高いカーテンウォール、広場に対し広く開口部をもったカフェにより、広場・通りと図書館との視覚的連続性を高め、活気のある環境を創出しました。



建物中央部に階段を新たに設けることで利便性を高めると共に、階段室の上部に設けたトップライトより建物内に自然光を取り込む。また、トップライトには換気窓を設け、ドラフト効果による自然換気を促し、緑豊かな大学に相応しい環境配慮型施設としてリニューアルを行いました。

[リニューアルオープン式典パンフレットより抜粋]

2) 改修前の課題

本図書館は昭和49年に建設され、小規模の内部改修や部分的な防水補修工事が行われたものの、ほぼ建設当時のままであり、旧耐震基準で設計されているため耐震性も劣っていた。内外装及び設備的にも老朽化が目立ち「暗くて寒い古い図書館」であった。情報サービスの点においても利用者ニーズに応えられている環境ではなかった。



収容しきれない書物



飽和状態の集密書庫



手狭なカウンター付近



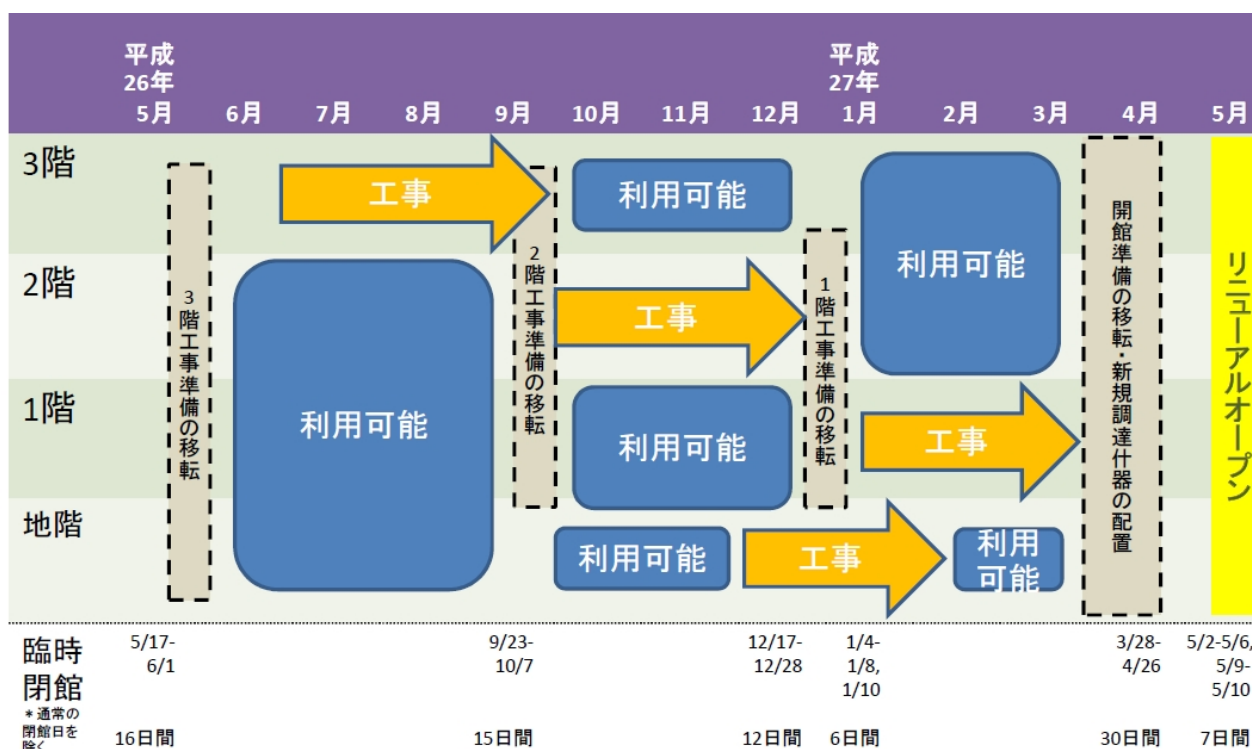
屋根からの雨漏れ

3) 改修工事期間中の図書館利用について

約1年にわたる改修工事期間中、図書館利用者へのサービスを維持するよう、以下の対応を行った。

- 階ごとに工事を行い、全館が利用できなくなる期間をできるだけ短縮した。
- 工事を行う階の資料・什器等を図書館内の別の階等に一時的に移転し、工事が終わった階へ、順次、資料・什器等を戻しつつ、次の階の工事の準備を行う作業を繰り返した。それにより、他の階が工事中であっても、資料の利用は可能とした。改修工事期間中、マイクロ資料・貴重書(平成26年6月以降)、地下書庫資料(平成26年12月～平成27年2月)、一部の参考図書(1階工事期間)は利用できない時期があった。
- 地下書庫の資料利用不可期間に先立ち約1か月間、本学学生・教職員を対象に、書庫資料貸出期間の延長と貸出可能冊数増の対応を行った。また、書庫資料利用不可の期間中、本学学生は書庫資料を他の図書館から無料で取寄せることができるサービスを実施。(実績: 文献複写8件, 図書貸出12件)
- 特に貴重な資料(4,000冊)については、温湿度の急変など、工事に伴う資料保管環境の悪化による影響を避けるため、無酸素パックに封入して保護した上で館内の別の場所に退避を行った(平成26年11月退避→平成27年4月に地下書庫へ再配架)。移動にあたっては、害虫の活動が比較的少ない時期に調整する、無酸素状態を保持することにより有害な薬剤を使用することなく殺虫処理を行うなど、貴重書の保全に細心の配慮を行った。
- 工事対象階の閲覧座席は利用不可であったため、学内他部署(特に学務課・学生課・財務課)の協力を得て、平成26年5月から平成27年4月まで、大学生協(第一・第二むさしのホール)や教室を代替学習スペースとして提供した。

【改修工事期間中の各階利用可能状況】



【改修工事期間中の図書館サービス内容】

		改修工事期間中のサービス	参考： 改修前通常開館時
開館時間	開館時間	授業期平日： 8:30-18:30 休業期平日： 8:30-17:00 *土日祝は閉館	授業期平日： 8:30-22:00 授業期土日祝： 10:00-18:00 休業期平日： 8:30-17:00 休業期土日祝 10:00-17:00
貸出・返却	貸出・返却	○	○
閲覧・ 資料の利用	館内閲覧	△ * 時期により、60～100席程度のみが利用可能	○座席数 580席
	新聞の閲覧	○	○
	視聴覚資料の利用	×	○
	修士論文・博士論文の閲覧	△ * 一部外部保管庫からの出納	○
	地図(25000分の1)	○	○
	マイクロ資料	×	○
	貴重書等	×	○要事前申請
書庫入庫/出納	書庫利用(出納)	△ * 原則職員による出納のみ * 12/13(土)～2/13(金)は利用不可	○
DB/E Jの 利用	オンラインDB, E Jの利用	○	○
	CD-ROM等のDB利用	○	○
オンライン サービス	OPAC	○	○
	マイライブラリ	○	○
レファレンス等	レファレンス	○平日17:00まで	○平日17:00まで
	学習サポータ	○授業期火・水・木	○授業期火・水・木
他大学図書館の 利用	紹介状の発行	○平日17:00まで	○平日17:00まで
	文献取寄せ・借受	○受取りは平日17:00まで	○受取りは平日 17:00まで
複写	カウンター内でのコピー	○平日16:30まで	○平日16:30まで
	セルフコピー, USBプリンタ	○	○
施設利用	グループ学習室	×	○
	PCルーム	×	○ * PCの利用は、閲覧室内の2台のみ
	大学院生用閲覧席	×	○
	新聞閲覧室	×	○ * 新聞の閲覧は館内別の場所
院試の過去問	院試の過去問	△ * 入試課で閲覧可	○

3. 平成25～26年度の主な活動日誌 [一部平成27年度当初の活動も含む]

1) 改修工事関係

平成25年度	
6月25日(火)	附属図書館の耐震改修計画(案)について、学内ポータルサイト(学芸ポータル)にて、全学へ意見聴取依頼
7月8日(月)	平成25年度第2回学術情報委員会 図書館改修について、第1期と第2期に分け、第1期は既存図書館の耐震改修とする予算要求方針を了承。
9月20日(金)	平成25年度第1回図書館改修準備WG 学術情報課職員(課長・副課長・各係1名 計7名)によるワーキンググループで具体的な検討準備を開始。以後、リニューアルオープンまでの約1年半、他大学(東京海洋大学, 東京工業大学, 明治大学, 千葉大学, 大手前大学, 大阪大学, 同志社大学, 立教大学等)の視察, 新規什器の検討や改修計画案の策定を行う。
10月11日(金)	平成25年度第4回学術情報委員会 第1期計画(耐震改修)について、平成25年度補正予算での措置に備えて、スケジュール案を提示。
2月13日(木)	平成25年度第7回学術情報委員会 平成25年度補正予算での第1期改修工事が確定し、次年度図書館の改修工事期間中のサービス方針を審議。



*改修工事広報用に作成・配布したしおり(上),
クリアフォルダー(右)



平成26年度 ～

5月17日(土)～6月1日(日)

改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(1回目)

5月19日(月)

改修工事期間中の代替学習スペース提供開始(～改修後の通常開館)

図書館事務室を3階から1階へ移動開始

10月に3階工事が完了するまで1階で業務を行う。

*工事開始直前, 什器をすべて移動撤去した3階事務室




6月30日(月)	改修工事 第1回定例会 施工業者・施設課・学術情報課の間で、工事に関わる連絡事項や進捗状況を確認するための定例会を開催(以後毎週月曜日の定期開催)。
9月23日(火)～10月7日(火)	改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(2回目)
10月8日(水)	図書館利用者用入口を1階西側から1階南側に変更 正面入口を閉鎖し、南側非常口を仮設の利用者用入口とした(～3回目臨時閉館まで)。
11月11日(火)～14日(金)	貴重資料の退避作業 書庫の工事開始に先立ち、特に貴重な資料をすでに工事が終了していた3階会議室へ退避。



← 書庫にて資料を無酸素パックにエージレスとともに密閉し、コンテナに収納。


← 会議室へ移動し、書庫の工事が終わるまでで保管。無酸素状態であることを点検。

写真提供：業務委託先業者
(株式会社 資料保存器材)

12月17日(水)～1月8日(木),1月10日(土)	改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(3回目)
1月9日(金)	図書館利用者用入口を1階南側から2階南側に変更 1階の本格的な工事開始に伴い、利用者用入口およびサービスカウンターを2階に仮設(～リニューアル・プレオープンまで)。利用者は、建物の外階段を上り2階から入館。
3月28日(土)～4月26日(日)	リニューアルオープン準備のための臨時閉館(最終)
4月27日(月)	附属図書館リニューアル・プレオープン
5月11日(月)	附属図書館リニューアルオープン
5月19日(火)	リニューアルオープン式典 



2) 展示・ガイダンス等

平成25年度	
4月4日(木)	留学生オリエンテーション 新規採用職員研修会
4月10日(水)	学部新入生オリエンテーション
4月12日(金)	博士課程入学者オリエンテーション
4月22日(月)～26日(金)	大学院生向け図書館ツアー
6月1日(土)～3日(月)	東京学芸大学附属図書館所蔵往来物・絵双六展 (日本近世文学会との共催) 日本近世文学会春季大会が本学で開催されるにあたり、日本近世文学会と附属図書館との共催で、本学附属図書館所蔵の江戸時代の書籍や絵双六を展示。
6月17日(月)～24日(月)	学生サークルきつねのしっぽ創作絵本展
7月22日(月)～8月23日(金)	東京学芸大学大学史資料室展示会「學藝アルバム：学生生活とキャンパスの移り変わり」
9月8日(日)	「青少年のための科学の祭典 東京大会 in 小金井」に出展 「すごろくであそぼう」というブースにて、附属図書館で所蔵するすごろく(明治期初期の『大日本物産雙録』の拡大コピー)を置き、実際にさいころ使用して、小学生など約30名がすごろくを体験。その他4点のすごろくのパネルを展示。 
10月8日(火)	留学生オリエンテーション
10月10日(木)	高大連携オリエンテーション
10月15日(火)～18日(金)	図書館情報学山口ゼミ展示「あの日から948日：震災・津波と図書館」
1月20日(月)～27日(月)	学生サークルきつねのしっぽ創作絵本展
1月27日(月)～2月6日(木)	斎藤一久准教授自主ゼミ展示「原発は教科書にどう描かれてきたか」

平成26年度	
4月2日(水)	留学生オリエンテーション
4月3日(木)	新規採用職員研修会
4月8日(火)	学部新入生オリエンテーション

平成26年度・新入生のための
図書館オリエンテーション

開催日：4月8日(火)
会場：S203教室 (※図書館ではありません。)

右表の時間で10分間隔します。このコマでも自由に参加できます。
大学の学部では、皆さん自身が必要とする本などを図書館で手に入れているか確認していただくことが大切になります。学部別には5月から1月までの間、図書館の改修工事を行う予定ですので、早急に参加ください。

問い合わせ先：附属図書館 情報リソース係
(TEL:042-599-7224 E-mail:library@shu.ac.jp)

9:00-9:20
9:40-10:00
10:20-10:40
11:00-11:20
12:00-12:20
13:00-13:20
13:40-14:00
14:20-14:40
15:00-15:20
16:00-16:20

4月11日(金)	博士課程入学者オリエンテーション
4月24日(木)	論文作成のための検索講習会(養護教育大学院生)
6月23日(月)～30日(月)	創作絵本サークルきつねのしっぽ手作り絵本展示会
10月7日(火)	留学生オリエンテーション
10月14日(火)	高大連携オリエンテーション
1月26日(月)～30日(金)	創作絵本サークルきつねのしっぽ手作り絵本展示会

3)その他

平成25年度	
7月30日(火)	「学術認証フェデレーション(学認：GakuNin)」への参加により、学認対応の電子ジャーナル、データベースが学外から利用可能に
2月13日(木)	平成25年度第7回学術情報委員会 1年かけて検討をしてきた、教員研究費で購入する図書の見直しについて、「東京学芸大学図書管理事務取扱実施細則」の一部改正案を了承。
3月10日(月)～11日(火)	蔵書点検(参考図書)の実施

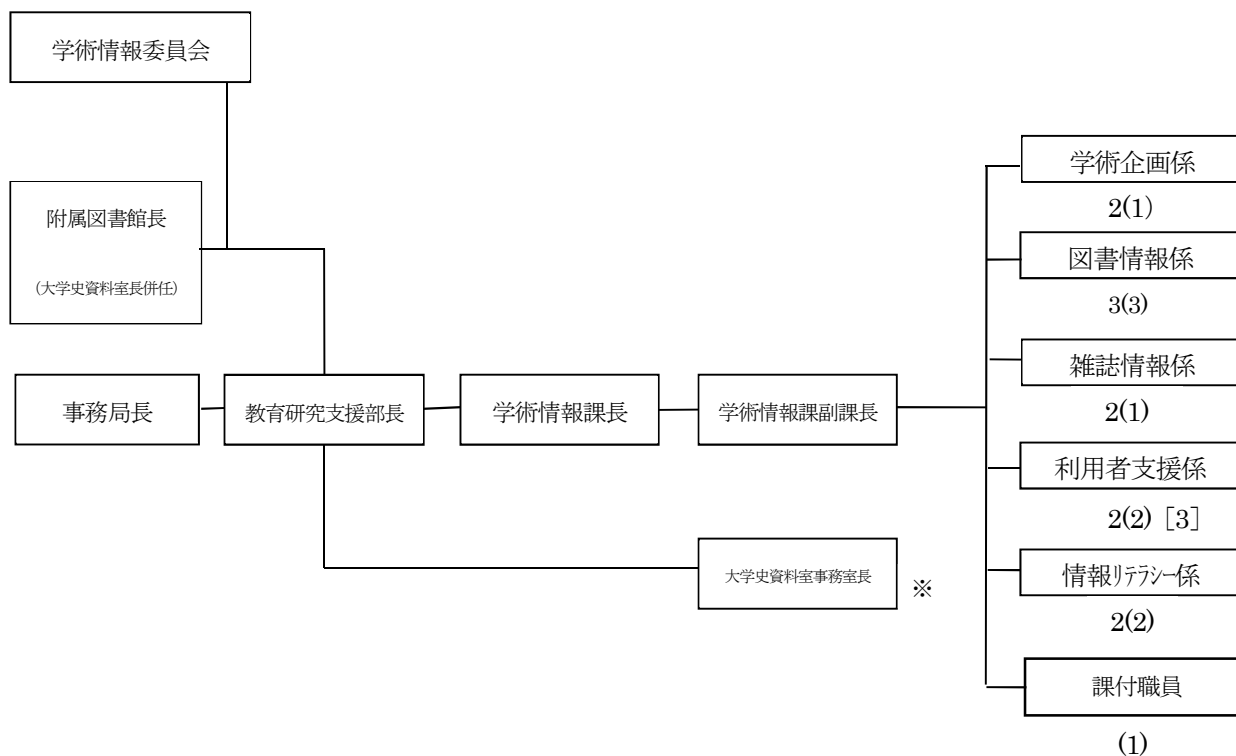
平成26年度 ～	
6月19日(木)～20日(金)	<p>国立大学図書館協会第61回総会・第10回マネジメント・セミナーの開催</p> <p>当番校として、本学が開催準備・当日運営の担当。(会場：国立オリンピック記念青少年総合センター)</p>
9月11日(木)	<p>「学生協働ワークショップ in 東京2014 ～大学図書館における学生協働の拡がり～」への参加</p> <p>学生サポーター3名が本学附属図書館における学生サポーターの取組を発表。</p>
9月24日(水)	<p>平成26年度第2回学術情報委員会</p> <p>2015年電子ジャーナル契約及びデータベース契約の一部見直し案の審議。海外新聞2紙を中止し、海外新聞DB「Newspaper Source Plus」の導入、データベースのうち「Australian Education Index」、「British Education Index」の次年度以降契約中止を決定。</p>
[平成27年4月]	「Education Research Complete」を「Education Source」に切替 海外新聞DB「Newspaper Source Plus」の正式サービス開始



組 織

1. 組織

(平成27年5月1日現在)



2. 職員数

(平成27年5月1日現在)

教育研究支援部長	課 長	副課長	係 長	主任・係員等	合 計
1	1	1	5	6(10)[3]	14(10)[3]

()内は、非常勤職員数で外数

[]内は、時間外勤務の非常勤職員数で外数

※大学史資料室事務室の職員数は4（兼任1，専門員1，非常勤職員(2)）で「2. 職員数」には含まない。

利 用 案 内

1. 開館時間

	授業期	休業期
月～金	8:30-22:00	8:30-17:00
土・日・祝日	10:00-18:00	10:00-17:00

2. 各種サービス時間

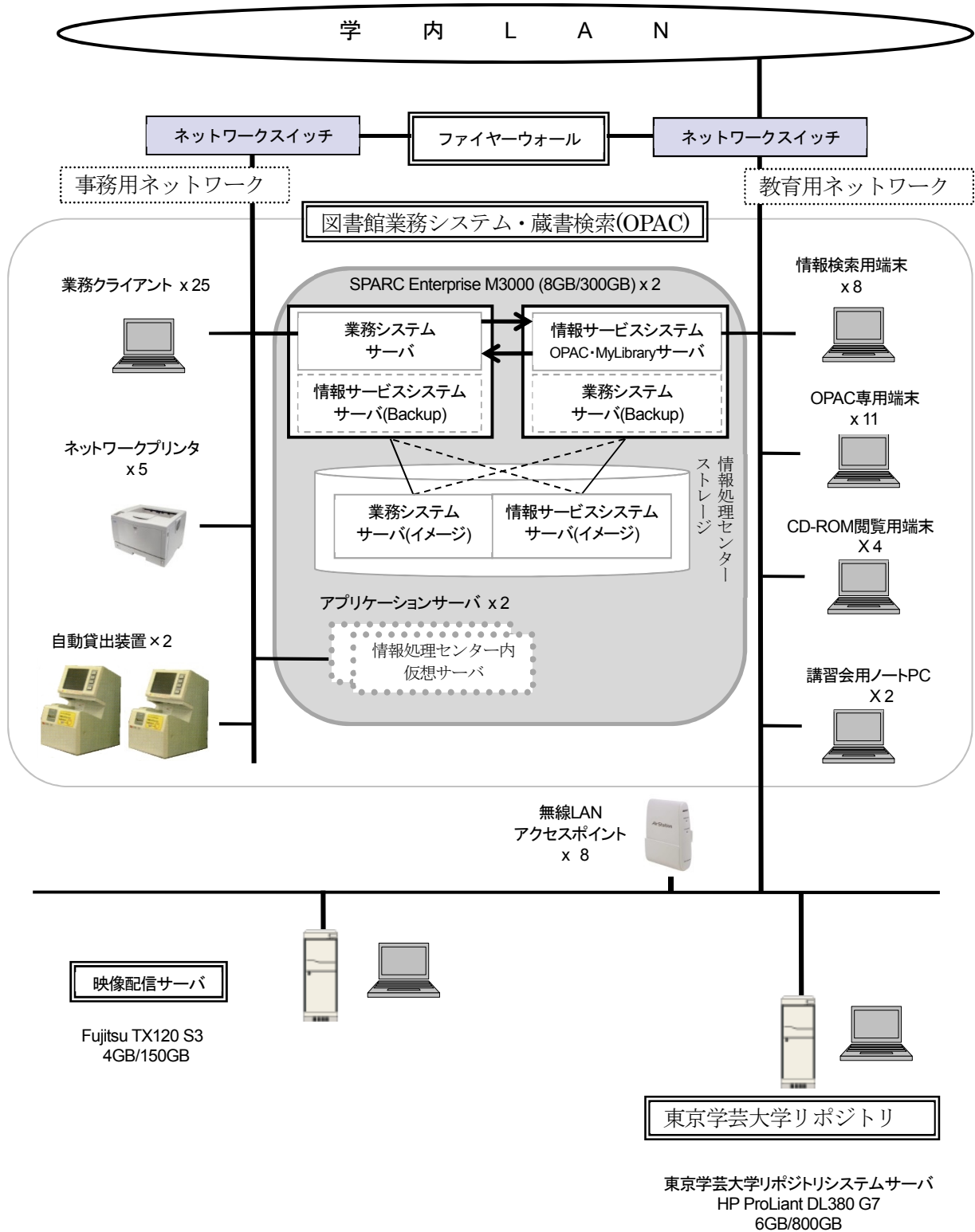
	平日		土・日・祝日	学外者 可否
	授業期	休業期		
書庫入庫/出納	8:30-21:30	8:30-16:30	10:00-17:30 (休業期は 10:00-16:30)	出納のみ可
修士・博士論文閲覧室利用				可
グループ学習室の利用				----
セルフコピー				可
マイクロ資料利用	8:30-12:00, 13:00-16:30		----	可
カウンター内でのコピー				----
貴重書利用(事前申請が必要)	8:30-16:30			可
レファレンス	レファレンス	8:30-17:00	----	可
他大学図書館の 利用	紹介状の発行			----
	文献取寄せ・借受			----

3. 貸出冊数・期間

	貸出区分	冊数	期間
本学役職員及び学生 (教職員, 学部学生, 大学院生, 特別専攻科の学生, 研究生, 科目等履修生)	一般図書	12冊	1ヶ月
	雑誌	3冊	1日
卒業生 現職教員 一般市民(満18歳以上, 他大学等に所属していない者)	一般図書	6冊	2週間

図書館システム

1. システム構成



システム	機種等	業務・サービス	備考
図書館情報システム	ハードウェア SPARC Enterprise M3000 ×2 他 ソフトウェア LIMEDIO(リコー)	①閲覧・貸出業務 ②図書受入業務 ③雑誌受入・目録作成業務 ④図書目録作成業務 ⑤相互利用業務 ⑥オンライン目録検索 ⑦マイライブラリ ⑧図書館ホームページの提供	平成23年度更新
東京学芸大学 リポジトリ	ハードウェア HP ProLiant DL380 G7 ソフトウェア NALIS-R(NTT データ九州)	①東京学芸大学リポジトリ ②教育系サブジェクトリポジトリポータル	平成23年度更新

本学の図書館業務の電算化は昭和52年から開始され、現在のシステムは平成24年3月に更新された。クライアント・サーバシステムで、図書館業務のパッケージソフトウェアとして、リコー製のLIMEDIOが導入されている。マイライブラリ機能により、オンライン図書購入依頼、相互利用申込、図書予約申込等の電子サービスの拡充を図っている。

一方、平成12年度から教育情報のポータルサイト構築を目指して開発を進め、平成13年10月にE-TOPIA(運用開始時名称：教育系電子情報ナビゲーションシステム)の本格運用を開始した。この時 E-TOPIAには、富士通の全文検索エンジンであるiLisSurfを採用していた。

その後、平成18年4月に国立情報学研究所の委託事業を受け、NTTデータ九州製のリポジト

リスシステムを導入、「東京学芸大学リポジトリ」として公開した。平成19年6月には、E-TOPIAをリニューアルし、東京学芸大学リポジトリをE-TOPIAの一部として位置づけた。新E-TOPIAでは、教育系電子情報ナビゲーションシステムの情報はリポジトリシステムに引き継がれ、さらに本学教員の研究成果・幅広い教育情報をも蓄積・公開対象としている。平成21年3月には複数の機関リポジトリから教育に関連する情報を選択的に収集し、教育独自の主題により検索可能とする教育系サブジェクトリポジトリポータルの機能を付加し、公開している。

2. オンライン目録検索(学芸大OPAC)



平成26年度末現在におけるオンライン利用者目録(学芸大OPAC : Online Public Access Catalog)の図書データは、約690,000件(蔵書数全体の約75%)で、引き続き遡及入力が進められている。館内各階の閲覧エリア・書庫にOPAC検索が可能な端末を設置。OPACは学外からも検索可能となっている。

3. PCコーナー

2階PCコーナーには、インターネット接続可能で、Word・PowerPoint等のアプリケーションソフトウェアが利用できる多目的端末18台を設置。レポート・論文作成などPCでの作業を必要とする学習・研究に利用できる(学内者のみ利用可)。



4. ネットワーク接続設備

館内閲覧エリアには、情報コンセントが197口配置されている。また、閲覧エリアであれば、どの場所からでも無線LANに接続することが可能である(学内者のみ利用可)。平成20年度には無線LANの更新を行い、通信環境の改善を行った。



館内利用者用PC等設備

利用者用PC等	地階	1階	2階	3階	合計
オンライン目録用端末	2	2	5	2	11
多目的端末	-	-	18	-	18
CD-ROM, データベース検索用	-	11	-	-	11
小計	2	13	23	2	40
情報コンセント	-	100	65	32	197
無線LAN	-	○	○	○	

5. 東京学芸大学リポジトリ(平成18年4月～)

平成17年度に国立情報学研究所の委託事業を受けて整備した、東京学芸大学教職員の研究成果を保存し、インターネット上で公開するサービスである。本学紀要類への掲載論文、本学で学位授与された博士論文など、全文コンテンツが年々増加している。このシステムで公開された研究成果は他大学の成果とともに、国立情報学研究所の「JAIRO」で検索できる。

6. 教育系サブジェクトリポジトリポータル(平成21年3月～)

複数大学の機関リポジトリの研究成果のうち教育に関するものを、教育独自の主題(教科・学校種別など)から検索できるようにしているシステム。平成27年3月現在、国立教育系大学を中心に私大なども含め7大学(大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、愛知教育大学、上越教育大学、文教大学)の協力を得て構築しており、約5,800件のデータが検索可能となっている。

平成19年度に国立情報学研究所の委託事業を受けて整備し、平成20年度に公開した。

蔵 書

1. 文庫・コレクション

1) 国内関係

望月文庫 (東京府青山師範学校創立50年記念文庫)	大正15年に東京府青山師範学校創立50年記念事業のひとつとして、師範教育に関する図書を集めたもので、望月軍四郎氏らの厚意によって設置された。往来物や明治初年以来の初等教育の教科書、教育書を含むコレクションである。(貴重図書)	7,627冊
松浦文庫	松浦鎮次郎氏を中心とする教育史編纂会が昭和13年に『明治以降教育制度発達史』を完成させ、会を解散させるにあたって、その図書、資料を東京府大泉師範学校に寄贈したもので、松浦氏自身の自筆草稿、教育法規、小学校教科書、教育史関係資料等が含まれる。(貴重図書)	1,470冊
日本近代教育史資料	江戸時代から戦前までの、往来物、双六、教科書、図書などの教育史関連資料。(貴重図書)	約5,500冊
双六コレクション (近世庶民教育資料)	小学尋常科高等科修業壽語禄、教育善悪子供双六、単語の図壽古呂久、女教訓出世双六など、近世庶民教育及び近世児童教育に寄与した江戸から明治にかけての双六コレクションである。(貴重図書)	191点
竹早文庫	東京第一師範学校女子部が昭和22年に戦時中文部省の外郭団体であった日本文化中央連盟の蔵書を一括購入したもので、哲学、史学、文学及び社会科学分野の図書、全集及び学術雑誌を含む。	約14,000冊
瀬川文庫	本学元教授の故瀬川三郎氏の旧蔵書を昭和44年に寄贈を受けたもので、ギリシャ文化・思想をはじめ、本学で教授された教育原理、教育哲学関係の図書等のコレクションである。	1,356冊
教育課程文庫	1947年初頭に米国から日本に寄贈された資料を中心に、米国の代表的教科書・教育専門書、日本の国定及び民間編集の教科書、学習指導要領等を含む。	7,910冊
西村文庫	西村四郎氏(サクラクレパス相談役)より寄贈された明治初期教科書『西画指南』(日本で最初の図画教科書)をはじめとする明治初期から昭和戦前期に至る美術教育関係資料。(貴重図書)	約3,800冊
梶文庫	本学元教授の梶外志子氏の旧蔵書。算数・数学教育を中心とする図書・雑誌・教科書など。	5,269冊

IFEL(The Institute For Educational Leadership)資料	IFELは、戦後文部省とCIE(GHQ民間情報教育局)が共催した教育指導者講習。この講習会の研究成果である「教育指導者講習研究集録」はIFELの実態を示す貴重な資料であり、特に本学で開設した小学校の管理や教育内容に関するものが多く含まれる。	186冊
プランゲ文庫雑誌コレクション	メリーランド大学のプランゲ文庫に含まれている戦後の日本占領下、特に1945年から1949年にかけて発行された資料のうち、教育関連の雑誌1,646タイトルのマイクロフィッシュ版。	3,918シート
戦後の教科書・指導書	小学校・中学校の教科書・指導書、高校の教科書について、各社から出版されたものを網羅的に所蔵。	約44,000冊
学習指導要領	幼稚園教育要領から小・中・高等学校、特別支援学校(養護・盲・聾学校)にわたって、学習指導要領を網羅的に所蔵。	約1,000冊
墨田民研資料	本学元教授故海老原治善氏を初代所長として、東京都教職員組合墨田支部(現墨田区教職員組合)により設立された墨田民主教育研究所が教育実践の研究を進めるため収集してきた資料群の一部。人権教育・同和教育・教育労働運動を主題とする図書・雑誌・機関紙など。本学に全学必修科目「人権教育」が開設されたことをふまえ、寄贈を受けた。	453冊

2) 海外関係

ドイツ教育学集書	1820年から1957年にかけてドイツで出版された教育学関係の図書、雑誌、モノグラフシリーズからなる。特に二つの世界大戦を含む1920年～30年代の資料が多い。[1978年国立大学大型コレクション]	2,478冊
英国教育学文献集成	1900年以降に発行されたイギリスの教育関係資料が中心。ヨーロッパ諸国等の教育関係資料も若干含まれている。[1979年国立大学大型コレクション]	2,011冊
フランス教育学集書	17世紀以降にフランスにおいて発行された教育論、教育史、教育方法に関する集書。[1980年国立大学大型コレクション]	176冊
ロシア・ソビエト教育研究雑誌コレクション	19世紀から20世紀のロシア、ソビエト連邦における教育関係の雑誌、目録、個人著作などをマイクロ化した資料(マイクロフィッシュ)。[1981年国立大学大型コレクション]	522シート

へボンその他の外国人 編纂による日本語・東 洋語辞書コレクション	へボンの『和英辞典』初版(1867)をはじめとする 幕末から明治期に刊行された外国人による日本 語・東洋諸語の辞典18種からなるコレクションで、 殆どが稀覯の原本である。[1983年国立大学大型コ レクション](貴重図書)	25冊
欧米障害児教育基本文 献集成	特殊教育に関する米、英、独、仏の文献集成で、 1956年以降に刊行された図書を中心とし、心理学、 教育学、生理学全般を含むコレクションである。 [1984年国立大学大型コレクション]	866冊
17世紀－19世紀フラン ス教育史コレクション	17世紀中葉から19世紀に出版されたフランス教 育に関するコレクションで、稀覯本を含む。[1989 年国立大学大型コレクション](貴重図書)	262タイトル (276冊)
ルドルフ・シュタイナ ー文献コレクション	ルドルフ・シュタイナーの著作、講演録418点と 弟子たちの著作272点からなるコレクションで、人 智学、神智学を中心に宗教、教育、芸術等の分野に わたる。[1993年国立大学大型コレクション](貴重 図書)	690タイトル (740冊)
ERIC資料	ERIC (Educational Resources Information Center) が作成した教育関係の二次資料のうち、 RIE (Resources in Education)に収録された原報 (一次資料)をマイクロ化したもの。	470,827シート
外国教科書	フィンランド、ドイツ、フランス、韓国などを中 心に、各国で使用されていた外国の教科書の資料 群。1960～1970年代が中心。	約5,000冊

2. 電子ジャーナル

エルゼビア社のScienceDirect等約10,000タイトル(有料)を導入している。(平成27年4月現在)

サービス名	提供元	タイトル数
ScienceDirect	Elsevier	2,257
SpringerLink	Springer	1,922
Wiley Online Library	Wiley	1,426
Cambridge Journals Online	Cambridge University Press	221
Oxford Journals	Oxford University Press	293
ACS Web Editions	American Chemical Society	49
Arts and Sciences I Collection	JSTOR	176
PsycARTICLES	EBSCO	115
Education Source	EBSCO	2,908
CiNii (機関定額制)	国立情報学研究所	567
合計		9,934

3. オンラインデータベース

1) 館内の特定のパソコンで利用するデータベース

- ① 聞蔵(きくぞう)II
- ② 毎日Newsパック

2) 学内LANに接続したパソコンから利用可能なデータベース

- ① LLBA(Linguistics and Language Behavior Abstracts)
- ② MathSciNet
- ③ PsycINFO
- ④ ERIC
- ⑤ SciFinder
- ⑥ Scopus
- ⑦ ジャパンナレッジLib(追加：国史大辞典)
- ⑧ D1-Law.com
- ⑨ 雑誌記事索引集成データベース
- ⑩ ナクソス・ミュージック・ライブラリー
- ⑪ Web OYA-bunko
- ⑫ Newspaper Source Plus
- ⑬ Ebsco eBook Collection
- ⑭ LISTA(Library, Information Science & Technology Abstracts)
- ⑮ GreenFILE

4. CD-ROM

- ① 朝日新聞戦後見出しデータベース(1945～1999)
- ② CD毎日新聞
- ③ 明治の読売新聞，大正の読売新聞，昭和の読売新聞
- ④ 平凡社世界大百科事典
- ⑤ 四庫全書CD-ROM
- ⑥ 新編国歌大観
- ⑦ CD-ROM版占領期教育指導者講習研究集録
- ⑧ Le monde sur CD-ROM

5. 自館作成デジタルコンテンツ

- ① 望月文庫往来物目録・画像データベース
- ② 東京学芸大学附属図書館デジタルアーカイブ『学びと遊びの歴史』
- ③ 教育情報ポータルサイト(E-TOPIA)収録データベース(東京学芸大学リポジトリ，教育系サブジェクトリポジトリポータル，学位論文データベース，貴重書本文画像データ)

統 計

1. 主たる利用対象者数

1) 学生数

	学部学生	特別 専攻科 学生	大学院 (修士課程)	大学院 連合 (博士課程)	教職 大学院	その他の 学生	合 計
平成27年 5月1日現在	4,843	29	626	131	70	154	5,853
平成26年 5月1日現在	4,950	32	633	126	55	157	5,953

2) 職員数

(平成27年5月1日現在)

学 長	理 事	監 事	教 員	附属学校運営参事	附属学校教員	職 員	合 計
1	4	2	334	1	345	222	909

2. 蔵 書

1) 受入図書・雑誌数

		図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
		和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
平成 26 年 度	購 入	5,551	249	5,800	577	322	899
	受 贈	1,793	176	1,969	722	11	733
	製 本	471	110	581	—	—	—
	除 却	4,943	2,441	7,384	—	—	—
	合 計*1*2	7,815 (6,317)	535 (211)	8,350 (6,528)	1,299 (1,014)	333 (56)	1,632 (1,070)
平成 25 年 度	購 入	6,772	597	7,369	594	352	946
	受 贈	1,545	198	1,743	728	18	746
	製 本	494	177	671	—	—	—
	除 却	504	1,275	1,779	—	—	—
	合 計*1*2	8,811 (6,164)	972 (267)	9,783 (6,431)	1,322 (1,010)	370 (60)	1,692 (1,070)
平成24年度*1*2		12,105 (8,108)	1,393 (352)	13,498 (8,460)	1,436 (1,105)	390 (60)	1,826 (1,165)

*1 除却は含まない。 *2()内は附属図書館備付分

2) 蔵書冊数

	図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
	和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
平成26年度	690,901	235,863	926,764	8,150	3,421	11,571
平成25年度	688,029	237,769	925,798	8,131	3,430	11,561

3) 視聴覚資料

(平成27年3月31日現在)

資料タイプ	タイトル数	資料タイプ	タイトル数
CD	1,901	LD	114
レコード	1,331	ビデオテープ	1,183
カセットテープ	206	DVD	1,332
映画フィルム(16/8mm)	230		

3. 利用状況 ※平成26年度は改修工事のため臨時休館あり

1) 開館日数

年 度	平 日	土曜日	日曜・祝日	合 計
平成 26 年度	204 日	4 日	8 日	216 日
平成 25 年度	232 日	44 日	61 日	337 日
平成 24 年度	235 日	45 日	62 日	342 日

2) 入館者数

年 度	種別	平 日	土曜日	日曜・祝日	合 計
平成 26 年度	総 数	135,638人	1,540人	4,507人	141,685人
	1 日平均	665人	385人	563人	656人
平成 25 年度	総 数	312,149人	23,226人	31,725人	367,140人
	1 日平均	1,345人	529人	520人	1,089人
平成 24 年度	総 数	318,206人	22,200人	29,600人	370,006人
	1 日平均	1,354人	493人	477人	1,082人

3) 貸出冊数*1

年 度	種別	平 日	土曜日	日曜・祝日	合 計
平成 26 年度	総 数	66,765冊	333冊	1,737冊	68,835冊
	1日平均	327冊	83冊	217冊	319冊
	貸出者*2				22,156(103)人
平成 25 年度	総 数	74,497冊	4,421冊	7,639冊	86,557冊
	1日平均	321冊	100冊	125冊	257冊
	貸出者*2				34,418(102)人

平成 24 年度	総 数	78,869冊	4,764冊	8,083冊	91,716冊
	1日平均	336冊	106冊	130冊	268冊
	貸出者*2				35,521(104)人

*1 館内貸出を含む

*2 一日の貸出手続き利用者数の年間合計。()内は1日平均。

4) 視聴覚資料利用状況

年 度	利用件数	備 考
平成 26 年度	245	5月以降改修工事に伴い利用停止
平成 25 年度	1,351	
平成 24 年度	1,019	

5) マイクロ資料利用状況

年 度	利用者数	ERIC	その他	合 計
平成 26 年度	2人	0件	2件	2件
平成 25 年度	2人	3件	1件	4件
平成 24 年度	4人	1件	4件	5件

6) 参考質問受付件数

		学 生	教職員	学外者	合 計
平 成 26 年度	利用案内	391	38	252	681
	文献所在調査	312	31	124	467
	事項調査	204	21	44	269
	合 計	907	90	420	1,417
平 成 25 年度	利用案内	284	27	189	500
	文献所在調査	224	24	92	340
	事項調査	189	16	42	247
	合 計	697	67	323	1,087
平成 24 年度		664	64	307	1,035

7) 文献複写(単位：枚数)

		学 内		学 外	合 計
		私 費	校 費	私 費	
平 成 26 年度	電子複写	106	488	489	1,083
	リーダプリンタ	0	0	0	0
	コイン式複写	-	-	-	251,610
	合 計	-	-	-	252,693

平成 25年度	電子複写	499	1,279	864	2,642
	リーダプリンタ	0	0	0	0
	コイン式複写	-	-	-	619,460
	合 計	-	-	-	622,102
平成 24 年度		-	-	-	547,858

8) オーダーメイド講習会実施回数

年 度	春学期	秋学期	合 計
平成 26 年度	11	4	15
平成 25 年度	18	10	28
平成 24 年度	11	6	17

9) 学習サポータ相談受付件数

年 度	春学期	秋学期	合 計
平成 26 年度	23	75	98
平成 25 年度	26	34	60
平成 24 年度	32	24	56

4. 相互協力 ※平成26年度は改修工事のため相互協力受付業務を停止

(一部、国内で当館のみ所蔵する資料等への対応あり)

1) 文献複写(単位：件)

		学外への依頼			学外からの 受付
		校 費	私 費	合 計	
平成 26年度	国内	900	1,091	1,991	152
	国外	8	4	12	0
	合 計	908	1,095	2,003	152
平成 25年度	国内	855	1,283	2,138	1,837
	国外	26	4	30	1
	合 計	881	1,287	2,168	1,838
平成 24 年度		834	1,372	2,206	1,901

2) 現物貸借

年 度	借 用	貸 出
平成 26 年度		363冊
平成 25 年度		400冊
平成 24 年度		439冊

3) 閲 覧

年 度	依 頼	受 付
平成 26 年度	83件	639件
平成 25 年度	93件	1,356件
平成 24 年度	92件	1,335件

5. 市民への公開

1) 貸出状況

年 度	登録者数	貸出冊数
平成 26 年度	559 人	3,642冊
平成 25 年度	739 人	7,149冊
平成 24 年度	700 人	6,982冊

6. 機関リポジトリ

1) 登録コンテンツ数

年 度	一次情報(本文データ)	二次情報(メタデータ)
平成 26 年度	4,307件	14,167件
平成 25 年度	4,102件	13,495件
平成 24 年度	3,770件	13,052件

2) 利用状況

年 度	アクセス数	ダウンロード数
平成 26 年度	275,643件	571,573件
平成 25 年度	197,285件	611,481件
平成 24 年度	194,058件	384,014件

7. 経 費 (単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
図書購入費	附属図書館	図書館図書費	32,565	32,287	30,350	31,784	31,556
		学生用図書購入費	4,643	8,769	4,013	7,713	8,045
		電子ジャーナル経費	11,484	10,984	10,325	14,609	25,638
		データベース経費	7,076	6,722	6,319	6,319	9,113
		その他	800 (留学生経費)	800 (留学生経費)	800 (留学生経費) 3,261 (その他経費)	800 (留学生経費)	500 (留学生経費)
		小 計	56,568	59,562	55,068	61,225	74,852
	研究室等	教員研究用図書費	40,490	41,548	36,207	33,933	44,512
		附属学校等図書費	10	9	9	22	85
		小 計	40,500	41,557	36,216	33,955	44,597
	合 計		97,068	101,119	91,284	95,180	119,449
その他	製本費	図書館製本費	(406)*	(789)*	(585)*	(603)*	(537)*
		研究室等製本費	(327)*	(742)*	(729)*	(702)*	(617)*
		小 計	(733)*	(1,531)*	(1,314)*	(1,305)*	(1,154)*
	紀要出版費	4,424	3,735	3,753	5,141	5,070	
総 計		101,492	104,854	95,037	100,321	124,519	

* この表全体は予算ベースの金額であるが、製本費は図書購入費から支出した執行ベースの金額であり、()の金額は図書購入費合計の内数である。

施設・設備

1. 図書館施設

1) スペース利用状況

使用区分	改修前		改修後		備考
	面積	割合	面積	割合	
サービススペース	1,466㎡	23.5%	1,853㎡	29.7%	閲覧室等
収蔵スペース	1,865㎡	29.9%	2,193㎡	35.1%	開架書架を含む
管理スペース	1,078㎡	17.3%	568㎡	9.1%	
その他	1,833㎡	29.3%	1,628㎡	26.1%	(改修後)カフェを含む
合計	6,242㎡	100.0%	6,242㎡	100.0%	RC地下1階地上3階建

2) 閲覧座席数等

事項		改修前	改修後	備考
閲覧座席数		580席	610席	
開架図書冊数		約130,000冊	約130,000冊	
図書収容力*	棚板延長	21,231m	21,411m	
	収容可能冊数	約589,300冊	約713,000冊	開架閲覧+書庫

*この他に、図書館の建物とは別棟の「外部保管庫」に約7万冊の収容力あり。

2. 主要設備

1) 図書館電動設備

設備	数量	備考
電動式集密書架	1式(2,423連)	地階書庫
入退館ゲート	3式	※平成27年4月導入 入館ゲート(2ゲート) 1式 書庫用ゲート(1ゲート) 1式 退館ゲート(1ゲート) 1式
ブックディテクションシステム	1式	IDEC BP2020-2



*入退館ゲートおよびブックディテクションシステム

2) 視聴覚機器

機 器	数 量	備 考
ビデオデッキ	7台	VHS 6台, β1台
LDプレーヤー	3台	
DVDプレーヤー	12台	ブルーレイ対応8台を含む
CDプレーヤー	5台	MD複合機1台を含む
ステレオ装置	2台	
マイクロリーダプリンター	2台	

3) 図書館コンピュータシステム主要機器

システム	機 器	機 種	数量
図書館システム	業務サーバ, 情報サービスサーバ	SPARC Enterprise M3000	2
	アプリケーションサーバ	情報処理センターシステム内 仮想サーバ	2
	業務用端末	Fujitsu ESPRIMO K552/C	25
	ネットワークプリンター	IPSIO SP 6330	5
	ハンディターミナル	MET-1000	4
	利用者用端末	Fujitsu ESPRIMO K552/C	23
	講習会用ノートPC	LIFEBOOK S761/C	2
	自動貸出装置	住友スリーエム ABC-T1 住友スリーエム ABC-ST	1 1
映像配信システム	映像配信サーバ	Fujitsu TX120 S3	1
東京学芸大学リポジトリ 教育サブジェクトリポジトリ ポータル	リポジトリサーバ	HP ProLiant DL380 G7	1

附属図書館長

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
阪 本 一 郎	昭 24. 7.31～昭 34. 3.31	石 渡 毅	昭 58. 4. 2～昭 62.3.31
久 富 貢	昭 34. 4. 1～昭 36. 3.31	小 林 文 人	昭 62. 4. 1～平 3. 3.31
千 々 和 実	昭 36. 4. 1～昭 38. 3.31	野 村 東 助	平 3. 4. 1～平 5. 3.31
岩 田 孝 三	昭 38. 4. 1～昭 43. 3.31	大 井 清 吉	平 5. 4. 1～平 7. 3.31
桜 井 芳 朗	昭 43. 4. 1～昭 43. 5.19	岡 本 靖 正	平 7. 4. 1～平 9.11. 9
鎌 田 正 宣	昭 43. 5.19～昭 43. 6.30	水 田 徹	平 9.11.10～平 11. 3.31
大 内 進	昭 43. 7. 1～昭 46. 3.31	鷺 山 恭 彦	平 11. 4. 1～平 15. 3.31
神 蔵 重 紀	昭 46. 4. 1～昭 48. 3.31	高 鷺 忠 美	平 15. 4. 1～平 16. 3.31
藤 本 光	昭 48. 4. 1～昭 50. 3.31	細 江 文 利	平 16. 4. 1～平 20. 3.31
辻 本 芳 郎	昭 50. 4. 1～昭 52. 3.31	出 口 利 定	平 20. 4. 1～平 22. 3.31
桑 原 経 重	昭 52. 4. 1～昭 54. 4. 1	長 谷 川 正	平 22. 4. 1～平 24. 3.31
稲 森 潤	昭 54. 4. 2～昭 58. 4. 1	藤 井 健 志	平 24. 4. 1～

* 平成27年5月19日 リニューアルオープン式典にて挨拶・案内を行う藤井館長



広報・企画

1. 出版物

タイトル	刊行頻度	ホームページ	備考
図書館利用案内	年1回	○	2013
東京学芸大学附属図書館概要	年1回	○	平成25年度

2. ウェブサイト

サービス	URL
附属図書館ホームページ	http://library.u-gakugei.ac.jp/
教育情報ポータルサイト	https://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/
学びと遊びの歴史	https://library.u-gakugei.ac.jp/digitalarchive/
ラーニングcommons	http://www.u-gakugei.ac.jp/~libref/learning_supporter/



* 学びと遊びの歴史 トップページ



* ラーニングcommons トップページ(Facebook, Twitter)

3. 資料展示会

往來物・絵双六展(日本近世文学会春季大会共催展示)(平成25年6月)



紀要出版

1. 紀要(第66集)の発行(平成26年度)

部 門	発行部数	掲載記事数	機関リポジトリ公開
総合教育科学系	480	68	68
人文社会科学系 I	430	11	11
人文社会科学系 II	470	16	16
自然科学系	400	13	13
芸術・スポーツ科学系	390	9	9

2. 紀要(第65集)の発行(平成25年度)

部 門	発行部数	掲載記事数	機関リポジトリ公開
総合教育科学系	490	63	63
人文社会科学系 I	440	7	7
人文社会科学系 II	480	18	18
自然科学系	410	8	8
芸術・スポーツ科学系	400	14	14

沿 革

昭和24年 5月	東京第一師範学校, 東京第二師範学校, 東京第三師範学校及び東京青年師範学校を統合して, 東京学芸大学が設置され, 同時に附属図書館を設置 本館を世田谷地区に置き, 他に4分館・1分室を置く
昭和30年 3月	3分館・1分室を小金井分館に統合
昭和36年 3月	小金井地区に図書館施設を新築(図書館1,765㎡, 書庫808㎡)
4月	小金井分館を本館とし, 世田谷本館を分館とする
昭和39年 3月	世田谷分館を小金井地区に統合
昭和49年 3月	延床面積6,241㎡の図書館新館を建設
昭和50年 4月	部課長制を導入, 1部・2課(整理課, 閲覧課)を設置
昭和52年 4月	電算機(OKITAC 50/40)による閲覧業務を開始
7月	電算機による図書受入業務を開始
昭和54年 5月	電気通信大学と閲覧業務共同処理システムを開始(昭和63年3月まで)
昭和56年 3月	情報検索端末装置を導入
昭和56年 8月	電算機による雑誌受入業務を開始
昭和61年 3月	ブックディテクションシステム(3M M-1850)を導入 電算機システムを更新(HITAC L-4701) 学術情報センター(現国立情報学研究所)ネットワークに加入
昭和62年 3月	文献複写用ファクシミリ(キャノファックス Laser930G)を導入
昭和63年 4月	整理課を情報管理課に, 閲覧課を情報サービス課に名称変更
平成 2年 4月	電算機を更新(HITAC M620/20) 情報処理センターシステムに図書館サブシステムが設けられ, 目録作成業務を開始(Data General ECLIPSE MV/2500DC)
6月	オンライン利用者用目録(OPAC)の運用開始
平成 3年 2月	CD-ROM導入
平成 4年 4月	ILL(Inter Library Loan)システムの運用開始
10月	授業期の土曜日開館を開始
平成 6年 2月	電算機を更新(HITAC M-840/20)
7月	自己点検・評価を実施
平成 7年 1月	授業期の日曜・休日開館を実施
2月	本学教官の研究成果の収集を開始
3月	情報処理センターシステム, 図書館サブシステムを更新(UNIXシステム : LIMEDIO, CD-ROMサーバ)

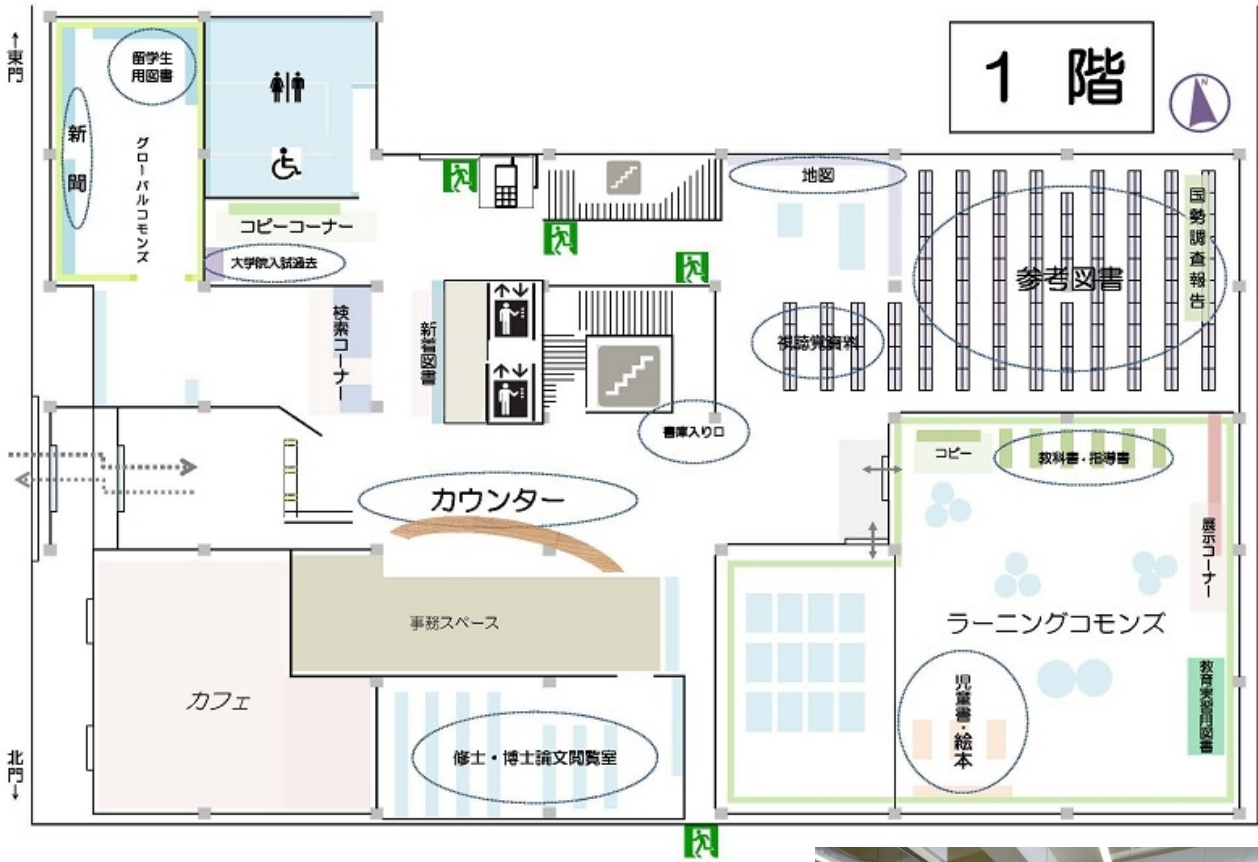
平成 7年 7月	自己点検・評価報告書『総合学術情報サービスに向けて ―自己点検・評価と将来計画―』を発行
平成 8年 3月	パソコン端末設置閲覧室及び情報コンセント等設置閲覧席を整備
5月	図書館ホームページを開設
10月	学術情報委員会発足
平成 9年 3月	特別資料閲覧室を設置し、視覚障害者用機器を整備 ブックディテクションシステムを更新(3M M-2301)
4月	夜間大学院及び昼夜開講制開設に伴い、時間外開館を延長 新聞閲覧室にコピーコーナーを整備
10月	望月文庫往来物資料のデータ入力を実施(平成9年度科学研究費補助金)
平成10年 1月	教育史関係書誌のデータ入力を実施(平成9年度科学研究費補助金)
2月	電算機を更新(SUN Ultra2 Model 2170) 入館管理システムを設置
3月	特別資料閲覧室の視覚障害者用機器等を拡充整備 視覚障害者用点字ブロック等を設置
4月	貸出制限冊数を変更
7月	東京学芸大学自己点検・評価及び外部評価の一環として、附属図書館の自己点検・評価を実施
平成11年 2月	望月文庫往来物資料の画像データ作成及び教育史関係書誌のデータ入力を実施(平成10年度概算要求補助金)
3月	情報処理センターシステム、図書館サブシステムを更新(SUN Ultra30 Model 300) 図書の不用品決定及び廃棄の基準を制定
8月	1階新聞閲覧室に自動販売機を設置
平成12年 1月	望月文庫往来物資料の画像データを作成(平成11年度科学研究費補助金)
3月	教育史関係書誌のデータ入力を実施(平成11年度科学研究費補助金)
6月	全国国立教育系大学附属図書館協議会による読書実態調査を実施
平成13年 7月	文献画像伝送システムの伝送テストを実施(国立大学図書館協議会東京地区協議会)
9月	教育系電子情報ナビゲーションシステムを導入
10月	GIF(Global ILL Framework)による日米ILL/DD試行運用に参加
平成14年 4月	日米ILL/DD本格運用に参加
10月	教育情報のポータルサイトである教育系電子情報ナビゲーションシステム(E-TOPIA)のサービスを開始
平成15年 3月	情報処理センターシステムと図書館事務用電子計算機システムの契約を一本化 図書館エントランスの改修

平成15年 4月	学外者(本学卒業生及び現職教員)に対する館外貸出を開始 多摩地区国立4大学附属図書館(東京外国語大学, 東京学芸大学, 東京農工大学, 電気通信大学)間の相互利用協定を締結 多言語対応OPAC(オンライン目録)及び携帯対応版OPACを公開
6月	Webサービスの拡大(図書購入依頼, 相互利用申込, 図書貸出予約) 教育実践データベースをE-TOPIAより公開
8月	電子ジャーナルのアーカイブコレクションJSTORを導入 日米ILL/DD現物貸借サービスに参加
10月	月例休館日の廃止及び年末年始開館日の拡大
11月	グローバルOPAC横断検索システムを公開 学部生の書庫入庫を拡大
平成16年 3月	閲覧室の無線LANを拡充
4月	レファレンスデスクを1階閲覧室に移動 視聴覚資料, ノートパソコンの館内貸出電算化処理開始 国立大学法人化に伴い資産を新法人に継承 図書館事務組織を学術情報部に改組 学生証と図書館利用証を一体化
11月	日韓ILL/DD暫定サービスに参加
平成17年 2月	自動貸出機設置
3月	指定図書制度廃止 1階配架の教科書・指導書貸出停止 電子的授業支援サービス(ECR)の正式運用開始
4月	2階に論文閲覧室設置, 学位論文を書庫から移動 情報基盤整備室の設置に伴う学術情報部の改組
8月	ピータイル床の部分改修(全館) 貸出カウンターとレファレンスデスクを統合し, サービスカウンターを設置
平成18年 2月	1階エントランスホール及びサービスカウンターの改修
3月	館長室及び部長室の改修 往来物資料のデータ入力を実施(平成17年度科学研究費補助金)
4月	院生用閲覧コーナー(3階)の設置 「東京学芸大学リポジトリ」公開
5月	情報処理授業支援「情報の検索と活用」を実施(20教室) ライブラリー・ランチタイム・コンサート(弦楽四重奏)を試演
平成19年 1月	図書館天井のアスベスト除去工事と空調設備工事に伴い全館休館

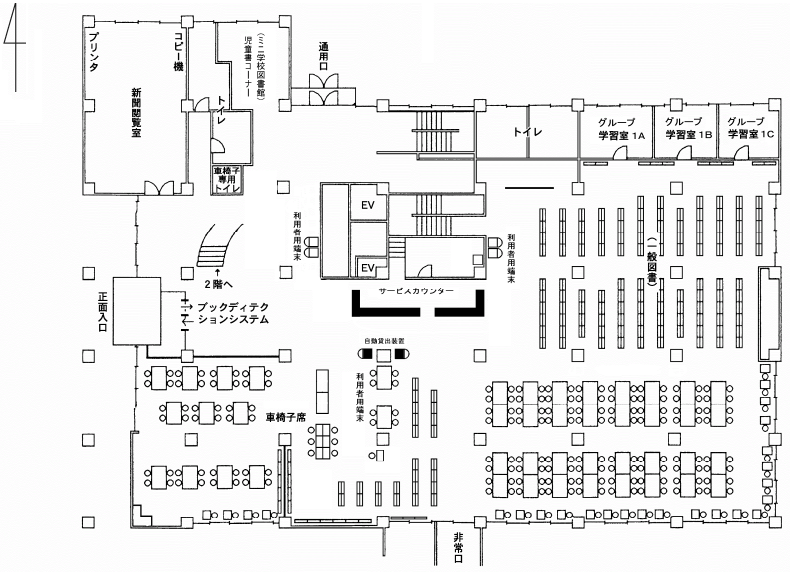
平成19年 3月	図書館天井のアスベスト除去工事と空調設備工事を完了(全館) 院生用閲覧コーナーを改装 図書館システム(情報処理センター情報処理システムのサブシステムとして)を更新 マイライブラリのサービスを開始 E-ラーニングシステム運用開始に伴い電子的授業支援サービス(ECR)停止 往来物資料のデータ入力を実施(平成18年度科学研究費補助金)
6月	E-TOPIAのリニューアル公開
平成20年 3月	明治初期教科書のデータ入力を実施(平成19年度科学研究費補助金)
4月	学術情報課と情報基盤課の2課体制とした学術情報部の改組
8月	地下書庫電動式集密書架の改修に伴い、地下書庫を閉庫
11月	地下書庫電動式集密書架の改修を完了(17単位中13単位の改修)
12月	シンポジウム『教育系サブジェクトリポジトリの可能性を求めてーネットワーク時代の教育情報発信を考えるー』を開催(附属図書館3階AVホール)
平成21年 3月	ブックディテクションシステムの更新(IDEC BP2020-2) 図書館エントランスの改修 無線LANの更新(全館) 教育系サブジェクトリポジトリポータル公開
4月	音楽DB「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」正式サービス開始 知識探索サイト「ジャパンナレッジ・プラス」正式サービス開始 「雑誌記事索引集成データベース」正式サービス開始 電子ブック「Net Library」正式サービス開始
7月	組織改編により学術情報課及び情報基盤課が教育研究支援部所属となる
9月	地下書庫電動式集密書架の改修に伴い、地下書庫を閉庫
10月	地下書庫電動式集密書架の改修を完了(17単位全ての改修完了)
平成22年 1月	学校図書館運営専門委員会、授業に役立つ学校図書館活用データベース公開
3月	特別教育研究経費による貴重資料の修復・保存事業が完了(平成21年4月～)
5月	電子ジャーナルの見直しを行い、「Academic Research Library」の次年度以降契約を中止決定 ジャパンナレッジに『国史大辞典』を追加
6月	貴重資料1,095点を電子化、デジタルアーカイブ「学びと遊びの歴史」を公開 教育実習図書のおすすめ先を「教育実習主任」に変え「教育実習用図書コーナー」を設置
7月	年1回の刊行となっていた広報誌「ライぶらり」を廃刊し、本と人をつなぐことを目的とした季刊の『まめリブ』を刊行
8月	一般雑誌の見直しを行い、休刊を含む18誌を購読中止し、27誌を新規購入

平成23年 3月	平成22年4月・10月の学生懇談会に続き、館長を囲む教員との懇談会を開催 「附属図書館リニューアルプラン 2011-2015 ー変革期に対応する東京学芸大学附属図書館の発展を目指してー」を策定
4月	機関リポジトリの運用管理業務を情報基盤課から学術情報課へ移管するために組織再編を行い「学術企画係」を編入 朝日新聞記事DB「聞蔵」を「聞蔵II」に切替
7月	「西村文庫」(美術教育関係コレクション)の設置、展示会を開催
8月	毎日新聞記事DB「毎日Newsパック」正式サービス開始
10月	図書館資料、電子ジャーナル、データベースを活用したレポート作成の指導助言を補助するため、本学院生による「学習サポータ」の実施を開始
平成24年 3月	図書館システム(情報処理センター情報処理システムのサブシステムとして)を更新、学術機関リポジトリも更新の対象として含めた 情報処理授業支援を中止し、オーダーメイド講習会を開始 旧用務員室を児童書コーナー(ミニ学校図書館)へ改修
4月	大学史資料室を設置 明治初期教科書・往来物・教育関連資料等1,336点をデジタルアーカイブ公開
6月	データベースの見直しを行い「Ulrich's Web.com」の次年度以降契約中止決定
8月	「Web OYA-bunko」の正式サービス開始
12月	リンクリゾルバの導入
平成25年 7月	「学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)」への参加により、GakuNin対応の電子ジャーナル、データベースが学外から利用可能に
平成26年 5月	附属図書館改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(5月17日～6月1日)
6月	附属図書館改修工事開始
9月	データベースの見直しを行い「Australian Education Index」、「British Education Index」の次年度以降契約を中止決定 附属図書館改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(9月23日～10月7日)
12月	附属図書館改修工事に伴う図書・什器移動のための臨時閉館(12月17日～1月8日,10日)
平成27年 3月	附属図書館改修工事完了 リニューアルオープン準備のための臨時閉館(3月28日～4月26日)
4月	「Education Research Complete」を「Education Source」に切替 海外新聞DB「Newspaper Source Plus」正式サービス開始 入館ゲートの導入 附属図書館リニューアル・プレオープン(4月27日)
5月	附属図書館リニューアルオープン(5月11日通常開館開始, 5月19日式典挙行)

平面図



改修前の1階



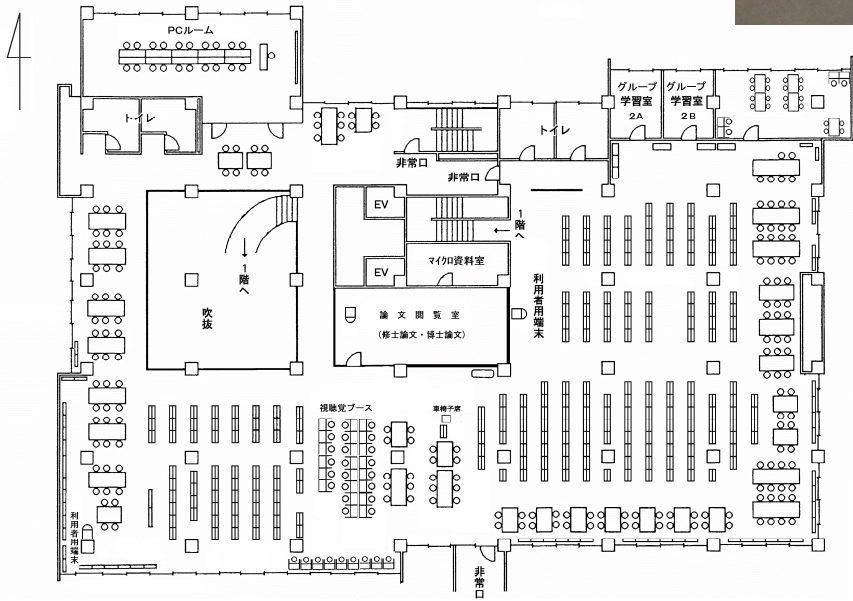
新図書館の目玉であるラーニングcommons。授業期の平日午後は大学院生の学習サポートが、学部生のレポートや卒論、授業での発表やグループワークの方法などを支援。



明るい広々とした閲覧スペース。
図書を中心に配架。



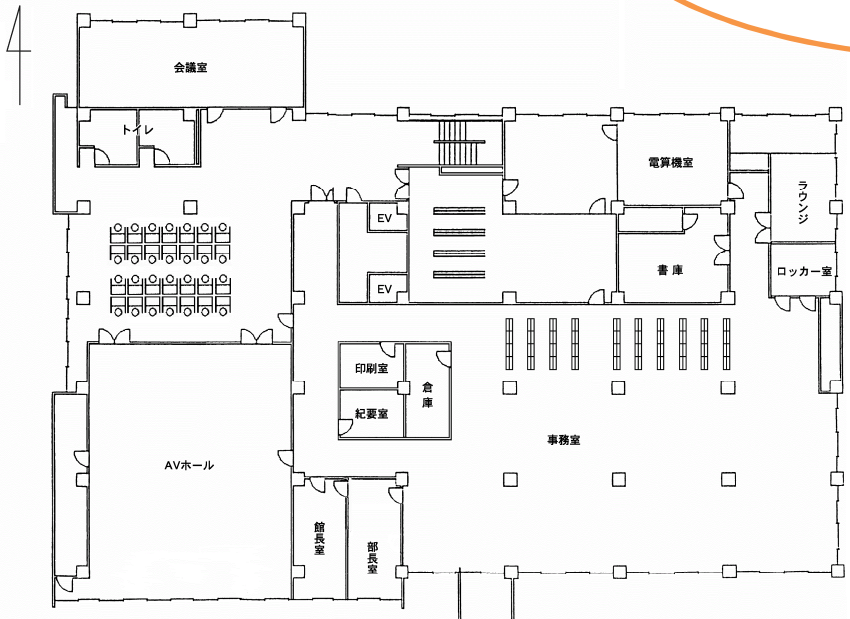
改修前の2階

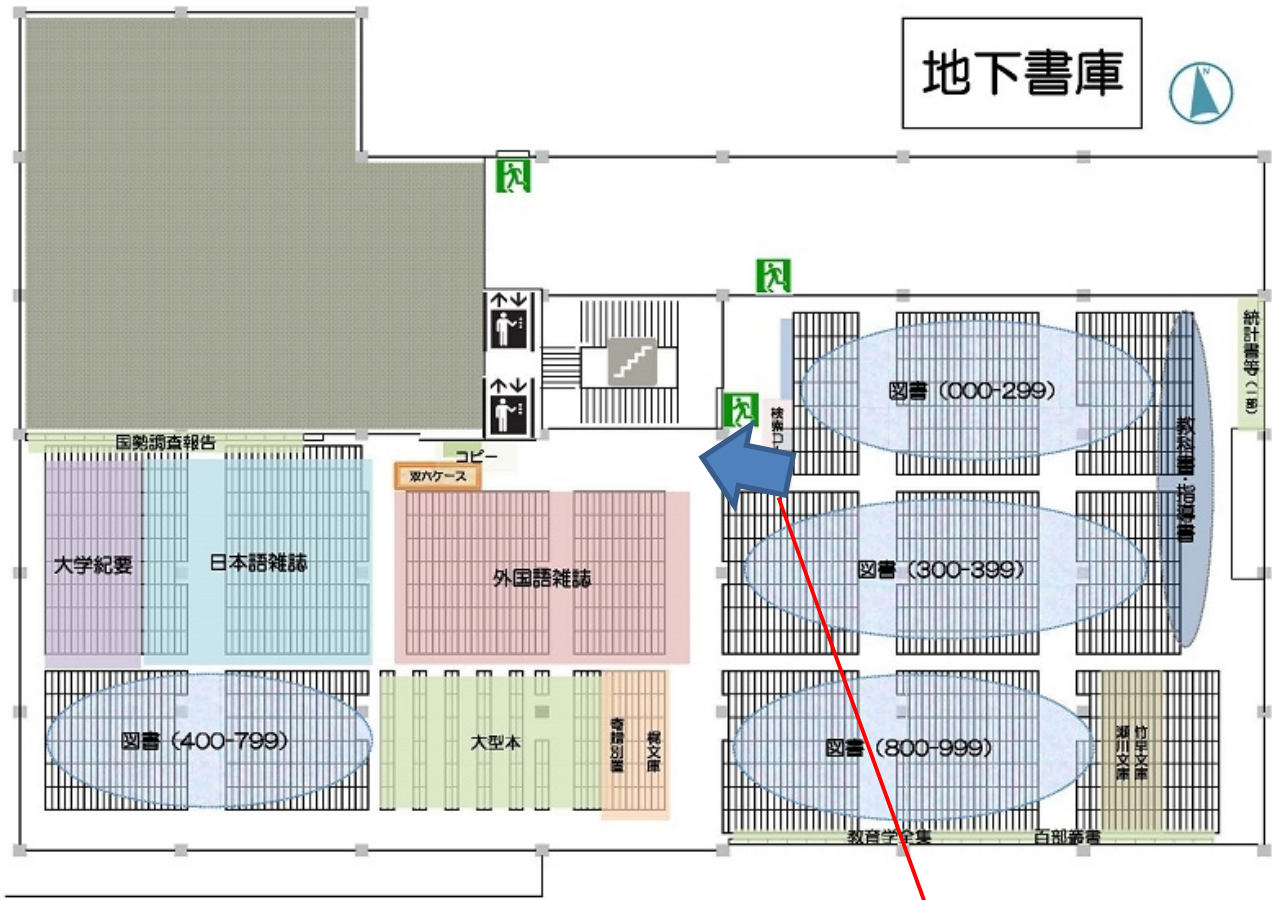




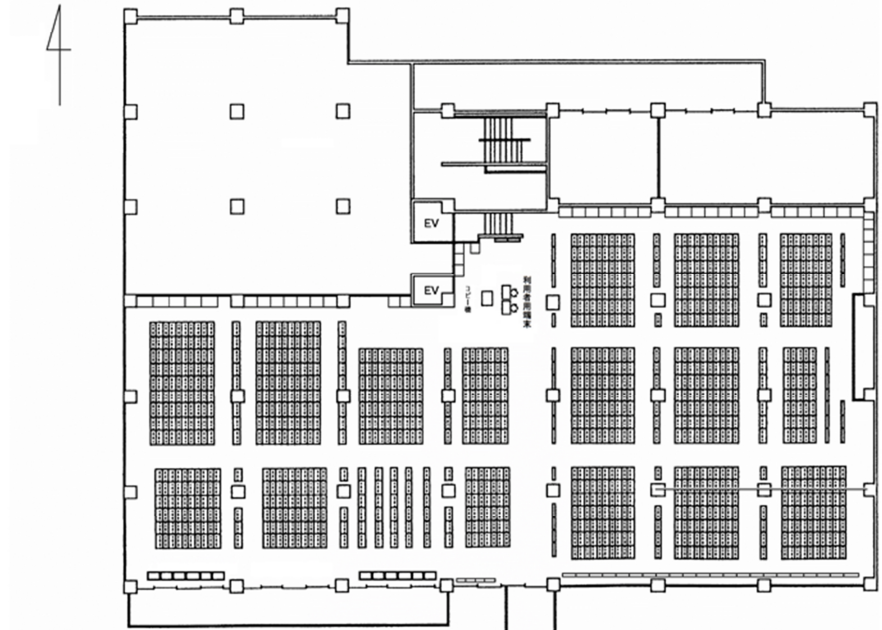
事務スペースを大幅縮小。主に教育・心理分野の雑誌を配架し、静粛に調査や研究・学習を行う利用者のためのフロアに生まれかわりました。

改修前の3階





改修前の地階



吹き抜け階段部分と書庫スペースの間をガラスで遮断し、書庫内の温湿度の急激な変化が生じないようにしました。

東京学芸大学附属図書館概要（平成 26－27 年度）

発行日：平成 27 年 10 月 30 日

編集発行：東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4 - 1 - 1

<http://library.u-gakugei.ac.jp/>